開催報告
大会の概要
大会テーマ・シンボルマーク等
関連行事
富山県実行委員会
各種計画
お手植え・お手播き樹種
イベント情報
全国植樹祭だより
開催に向けた取り組み
苗木のホームステイ
一般参加者募集
入札情報
シンボルマーク等の使用について
寄附者一覧
富山県・会場へのアクセス
よくある質問
お問い合わせ
関連リンク一覧

富山県実行委員会

2014年6月4日(水)

第1回幹事会

実行委員会には、総会のほか、関係団体の実務者で組織する「幹事会」を設けることとし、平成26年6月4日、第１回幹事会を開催しました。
実行委員会設立総会で了承された大会の「基本構想」を報告した後、この基本構想に基づき策定する「基本計画」の主な検討内容について、審議いただきました。

会議の概要

１ 日時　平成26年6月4日（水）　午前10時00分～午前11時30分
２ 場所　富山県農協会館8階ホール（富山市新総曲輪2-21）
３ 議題　基本計画の検討について

主な意見

・植樹祭を契機として、県産材利用や林業・木材産業の再生を進めてほしい。
・富山特有の地形や豊かな自然、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」など、強みを活かして富山県らしい大会としてほしい。
・「とやまの森づくりサポートセンター」を活用して、より多くの県民の皆さんに森づくりに参加してもらえるように進めることが必要。

議事録（要旨）［PDF：191KB］
資料１　実行委員会の組織体制［PDF：307KB］
資料２　基本構想［PDF：354KB］
資料２　基本構想（要約版）［PDF：717KB］
資料３　基本計画の主な検討内容［PDF：263KB］
次第等［PDF：233KB］

お問い合わせ先
富山県農林水産部森林政策課全国植樹祭推進班
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
TEL076-444-4077　FAX076-444-3390

当HPへのリンクについて

サイトポリシー

Copyright(c) 第68回全国植樹祭富山県実行委員会 All rights reserved.

第６８回全国植樹祭富山県実行委員会　第１回幹事会　議事概要及び主な意見

日時：平成 26 年 6 月 4 日（水）10:00～11:30

場所：農協会館　８階ホール

１　議事の概要

（１）基本計画の策定について

・基本計画の素案（構成や主な検討事項）について説明、意見聴取

２　委員からの主な意見

- 植樹祭を契機として、県産材利用や林業・木材産業の再生を進めてほしい。
- 式典は、両陛下をお迎えするにふさわしい、品格あるものとすることが必要。
- 富山特有の地形や豊かな自然、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」など、強みを活かして富山県らしい大会としてほしい。
- 森づくりサポートセンターを活用して、より多くの皆さんに森づくりに参加してもらえるように進めることが必要。
- 富山県の芸術文化活動を全国の皆さんに披露できる絶好の機会。
- 森づくりと海づくりに加え、川づくりも含めて森・川・海のつながりを考慮して取り組むことが必要。
- 先催大会の参加者から意見を聴取するなどして、参加者目線の大会とすることが必要。

資料１－１

第68回全国植樹祭　推進体制

公益社団法人　国土緑化推進機構

＜検討事項＞
- ○開催県の決定　：平成26年8月（理事会）
- ○大会テーマについて開催県と協議　：平成27年
- ○基本計画決定　：平成28年2月（特別委員会）

共催

富山県

第68回全国植樹祭富山県実行委員会

＜体制＞78名
会　長：知事
副会長：県議会議長、とやま緑化推進機構理事長、魚津市長
委　員：国関係、市町村長、県、林業団体、農水団体、経済団体、観光、輸送団体　等
監　事：県及び魚津市会計管理者
参　与：県内報道機関

＜審議事項＞
○会則の制定及び改廃
○大会の企画及び運営に関する基本的事項
・基本計画、実施計画
（基本計画の内容）
1　開催概要（開催方針、開催理念等）
2　式典行事計画（演出ﾃｰﾏ、進行ｽｹｼﾞｭｰﾙ等）
3　植樹計画（お手植え、お手播き樹種等）
4　会場計画（施設配置、交流広場等）
5　運営計画（招待別参加者、行動計画等）
6　宿泊・輸送計画（基本的考え方）
7　荒天時式典会場（施設、開催規模）
8　記念行事等計画（基本的な考え方等）
9　県民運動計画（基本的な考え方等）
10　広報・協賛計画（基本的な考え方等）
○事業計画及び事業報告

委任

報告

幹事会69名

幹事長：農林水産部長
副幹事長：魚津市副市長、とやま緑化推進機構専務理事、農林水産部次長
幹　事：国関係、副市町村長、県、林業団体、農水団体、経済団体、観光団体、輸送団体　等

＜審議事項＞
○実行委員会の審議・決定事項の原案作成

資料1－2

第68回全国植樹祭富山県実行委員会　委員

（敬称略）

区分	団体	役職	氏　名
会長	富山県	知事	石井　隆一
副会長	富山県議会	議長	高平　公嗣
	(公社)とやま緑化推進機構	理事長	髙木　繁雄
	魚津市	市長	澤崎　義敬
学識者	富山大学	学長	遠藤　俊郎
	富山国際大学	学長	中島　恭一
林業・緑化団体	富山県山林協会	会長	高平　公嗣
	富山県森林組合連合会	代表理事会長	桃野　忠義
	富山県木材組合連合会	会長	西村　亮彦
	(公社)富山県農林水産公社	理事長	寺林　敏
	(一社)富山県建設業協会	会長	近藤　駿明
	富山県素材生産組合	理事長	島田　勝由
	富山県林業研究グループ協議会	会長	宇井　展生
	富山県樹苗緑化協同組合	理事長	加茂　輝隆
	(一社)富山県緑化造園土木協会	会長	加茂　輝隆
	(公財)花と緑の銀行	理事長	荒木　勝
	富山県花とみどりの少年団連絡協議会	会長	桃野　忠義
農水団体	富山県農業協同組合中央会	会長	穴田　甚朗
	富山県漁業協同組合連合会	代表理事会長	魚崎　忠雄
	富山県内水面漁業協同組合連合会	代表理事会長	米澤　博孝
建築団体	(一社)富山県建築組合連合会	理事長	丸田　和重
	(公社)富山県建築士会	会長	中野　健司
経済団体	富山県商工会議所連合会	会長	髙木　繁雄
	富山県商工会連合会	会長	石澤　義文
	(一社)富山県経営者協会	会長	稲垣　晴彦
	富山経済同友会	代表幹事	久和　進
観光団体	(公社)富山県観光連盟	会長	犬島　伸一郎
青少年・女性団体	富山県婦人会	会長	岩田　繁子
	(社)富山県社会福祉協議会	会長	岩城　勝英
環境団体	(公財)とやま環境財団	理事長	新木　富士雄
	(公財)環日本海環境協力センター	理事長	鈴木　基之
文化団体	(一社)富山県芸術文化協会	会長	吉田　泉
教育団体	富山県PTA連合会	会長	八嶋　浩久
輸送団体	西日本旅客鉄道(株)金沢支社	支社長	野中　雅志
	(公社)富山県バス協会	会長	桑名　博勝
	富山県タクシー協会	会長	土田　英喜
県議会	富山県議会農林水産委員会	委員長	山上　正隆
国	林野庁中部森林管理局	局長	奥田　辰幸

（敬称略）

区分	団体	役職	氏　名
県	富山県知事政策局	局長	日吉　敏幸
	富山県観光・地域振興局	局長	渋谷　克人
	富山県生活環境文化部	部長	村椿　晃
	富山県農林水産部	部長	須沼　英俊
	富山県土木部	部長	林　正之
	富山県教育委員会	教育長	寺井　幹男
	富山県警察本部	本部長	櫻澤　健一
市町村	富山市	市長	森　雅志
	高岡市	市長	髙橋　正樹
	氷見市	市長	本川　祐治郎
	滑川市	市長	上田　昌孝
	黒部市	市長	堀内　康男
	砺波市	市長	夏野　修
	小矢部市	市長	桜井　森夫
	南砺市	市長	田中　幹夫
	射水市	市長	夏野　元志
	舟橋村	村長	金森　勝雄
	上市町	町長	伊東　尚志
	立山町	町長	舟橋　貴之
	入善町	町長	米澤　政明
	朝日町	町長	脇　四計夫
	魚津市議会	議長	梅原　健治
監事	富山県	会計管理者	島崎　慎一
	魚津市	会計管理者	田村　清信
参与	(株)北日本新聞社	代表取締役社長	板倉　均
	(株)富山新聞社	代表	小川　哲哉
	(株)読売新聞東京本社北陸支社富山支局	支局長	河合　正人
	(株)朝日新聞社富山総局	総局長	平岡　和幸
	(株)毎日新聞社富山支局	支局長	廣田　正人
	(株)中日新聞社北陸本社富山支局	支局長	中島　健二
	(株)日本経済新聞社富山支局	支局長	吉田　力
	(一社)共同通信社富山支局	支局長	原　真
	(株)時事通信社富山支局	支局長	加藤　隆
	日本放送協会富山放送局	局長	沖谷　昇
	北日本放送(株)	代表取締役社長	横山　哲夫
	富山テレビ放送(株)	代表取締役社長	武蔵　徹
	(株)チューリップテレビ	代表取締役社長	島倉　正
	(株)テレビ朝日富山支局	支局長	中田　絢子
	富山エフエム放送(株)	代表取締役社長	小山　孝義
	(株)日刊工業新聞社富山支局	支局長	渡邊　大介
	78名(重複含む)		

資料1－3

第68回全国植樹祭富山県実行委員会　幹事会

区分	団体・所属	役職	氏名
幹事長	富山県	農林水産部長	須沼　英俊
副幹事長	富山県	農林水産部次長	山本　公生
	(公社)とやま緑化推進機構	専務理事	斉藤　　勉
	魚津市	副市長	谷口　雅広
学識者	富山大学人間発達科学部	学部長	神川　康子
	富山国際大学現代社会学部	教授	尾畑　納子
林業・緑化団体	富山県森林組合連合会	代表理事専務	柳原　正紀
	富山県木材組合連合会	副会長・専務理事	宮長　　悟
	富山県山林協会	専務理事	落原　正之
	(公社)富山県農林水産公社	専務理事	祖川　信一
	(一社)富山県建設業協会	常務	竹田　淳一
	富山県素材生産組合	事務局長	宮長　　悟
	富山県林業研究グループ協議会	会長	宇井　展生
	富山県樹苗緑化協同組合	事務局長	石黒　信二
	富山県緑化造園土木協会	専務理事	荒木　一夫
	(公財)花と緑の銀行	専務理事	定村　剣次
	富山県花とみどりの少年団連絡協議会	副会長	斉藤　　勉
	草刈り十字軍運動本部	事務局次長	川尻香代子
	富山県フォレストリーダー協会	会長	岡山　重憲
農水団体	富山県農業協同組合中央会	専務理事	山瀬　洋明
	富山県漁業協同組合連合会	代表専務理事	水門　　巧
	富山県内水面漁業協同組合連合会	事務局長	秋田　廣成
建築団体	(一社)富山県建築組合連合会	副会長	池上　敏久
	(公社)富山県建築士会	専務理事	小林　英俊
経済団体	富山県商工会議所連合会	常任理事・事務局長	天坂　幸治
	富山県商工会連合会	専務理事	池田　　進
	(一社)富山県経営者協会	専務理事	佐藤　　登
	富山経済同友会環境問題委員会	委員長	東澤　善樹
観光団体	(公社)富山県観光連盟	副会長・専務理事	高野　博之
	(公財)富山コンベンションビューロー	常務理事	中山　喜徳
	富山県いきいき物産(株)	営業部長	金子　友義
	宇奈月温泉女将の会「かたかご会」	会長	濱田　昌子
青少年女性団体	富山県婦人会	理事	青山　芳枝
	(福)富山県社会福祉協議会	専務理事・事務局長	石坂　博信
環境団体	(公財)とやま環境財団	専務理事	堀　　武司
	(公財)環日本海環境協力センター	常務理事・事務局長	川崎　清人
文化団体	(一社)富山県芸術文化協会	専務理事	舟本　幸人
教育団体	富山県PTA連合会	副会長	米屋　慎一
輸送団体	西日本旅客鉄道㈱金沢支社	富山地域鉄道部長	川崎　郁夫
	(公社)富山県バス協会	専務理事	小竹　典吉
	富山県タクシー協会	専務理事	清澤　新一
	あいの風とやま鉄道㈱	代表取締役専務	朝倉　隆文
	富山空港ターミナルビル㈱	代表取締役専務	藤井　眞次
	富山地方鉄道㈱	専務取締役	稲田　祐治
国	林野庁中部森林管理局富山森林管理署	署長	加藤　昭広
県	富山県知事政策局	次長	蔵堀　祐一
	富山県観光・地域振興局	次長	磯部　　賢
	富山県経営管理部	次長	山本　　修
	富山県生活環境部	次長	熊谷　和哉
	富山県厚生部	次長	新庄　幹夫
	富山県商工労働部	次長	小城　慎治
	富山県土木部	次長	田中　篤人
	富山県教育委員会	次長	伍嶋二美男
	富山県警察本部	警備部長	小山　重一
市町村	富山市	副市長	神田　昌幸
	高岡市	副市長	林　　時彦
	氷見市	副市長	棚瀬　佳明
	滑川市	副市長	石川　忠志
	黒部市	副市長	中谷　延之
	砺波市	副市長	齋藤　一夫
	小矢部市	副市長	高畠　進一
	南砺市	副市長	工藤　義明
	射水市	副市長	泉　　洋
	舟橋村	副村長	古越　邦男
	上市町	副町長	中川　行孝
	立山町	副町長	舟﨑　邦雄
	入善町	副町長	林　榮佐男
	朝日町	副町長	竹内　寿実
	魚津市産業建設部	部長	四十万隆一
	69名(重複含む)		

資料２

第68回全国植樹祭

基　本　構　想

第68回全国植樹祭富山県実行委員会

平成26年5月30日

目　　次

第1章　全国植樹祭の開催意義　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
第2章　開催方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　１　開催理念
　２　富山県の特色を活かした大会の基本方針
　　（１）　豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会
　　①　県民参加による多様な森づくりの推進
　　②　持続可能な森づくりの推進と県産材活用による
　　林業・木材産業の振興
　　③　優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信
　　（２）　森づくりと海づくりの連携の推進
　　（３）　雄大な自然など富山県の魅力発信
　　（４）　「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会
　３　大会テーマ
　４　シンボルマーク（大会キャラクター）
　５　開催候補地
　　（１）　式典会場（お手植え、お手播きを含む）
　　（２）　植樹会場
　　（３）　荒天会場
　６　開催規模
　７　開催時期
第3章　式典行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　１　基本的な考え方
　２　式典演出
　　（１）　プロローグ
　　（２）　式典
　　（３）　エピローグ
　３　式典運営
第4章　植樹行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　１　基本的な考え方
　２　お手植え・お手播き
　３　記念植樹
第5章　会場整備等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
　１　基本的な考え方
　２　会場整備
　　（１）　式典会場

（２）　植樹会場
（３）　駐車場、交流広場等
（４）　荒天会場
３　交通・宿泊等
（１）　交通・宿泊
（２）　その他
第6章　記念事業等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
１　基本的な考え方
２　記念事業
３　関連事業
４　広報活動
第7章　運営方針等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
１　基本的な考え方
２　実施組織
（１）　第68回全国植樹祭富山県実行委員会
（２）　第68回全国植樹祭富山県実施本部

第１章　全国植樹祭の開催意義

本県は、標高3,000メートル級の北アルプス立山連峰から、森林・里山地域、平野、そして水深1,000メートルの神秘の海富山湾まで高低差4,000メートルのダイナミックで変化に富んだ地形を有しています。これを背景とした本州随一を誇る植生自然度に象徴される豊かな自然環境は、ライチョウ等の貴重な野生生物をはじめ多様な動植物を育み、私たちの生活の基盤である大気や水をはじめ、おいしいお米や種類豊富でキトキトの魚に代表される食の恵みをもたらすなど、私たちの命と暮らしを支えています。さらにこの多様な自然は、農林水産業をはじめとしたさまざまな地域産業の振興に寄与するとともに、井波彫刻や庄川挽物木地に代表される伝統工芸、国宝瑞龍寺、世界遺産・五箇山合掌造り集落などの地域特有の文化を育んできました。

一方、かつて山村住民とのかかわりの中で維持・管理されてきた里山林は、昭和30年代以降の生活様式の変化等により利用されなくなり、明るい林を好む動植物が減少する一方で、クマなどの大型動物が人里近くまで活動域を広げる要因にもなってきました。このため、平成19年度から導入した「水と緑の森づくり税」を活用し、生物多様性の保全や野生生物との共生を目指した里山の整備・保全を県民の協働で進めています。

また、「森は海の恋人」といわれるように、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育みます。本県でも林業関係者と漁業関係者が協力して森林整備活動や魚礁の設置など様々な取組みが進んでいます。平成27年度には、全国豊かな海づくり大会が開催されることになっており、今後、益々森づくりと海づくりの連携が深まっていくものと考えています。

他方、本県の森林の約19％にあたる53千haを占めるスギを中心とした人工林については、その多くが間伐等の手入れが必要な林齢から、木材として利用可能な林齢へと資源の充実を迎えています。今、我々はこの身近な木材を有効に活用することが林業・木材産業の振興にとって不可欠です。

こうした中、本県では国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。伐採後の再造林にこの「立山 森の輝き」を積極的に活用し、その伐採・利用と再造林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりにより森林資源の循環利用を促進していく必要があります。

北陸新幹線開業まもない時期に全国から多くの林業関係者をお迎えして開催することから、この機会を活かして、本県の豊かな森づくりの取組みが大きく前進する意義のある大会とします。

○　全国植樹祭とは

全国植樹祭（第20回大会までは「植樹行事並びに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名称となっている。）は、豊かな国土の基盤である森林・緑化に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に、(公社)国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

これまでの大会では、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、県内外から多くの方々に参加していただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

○　富山県での開催状況

昭和44年５月、天皇皇后両陛下をお迎えし、砺波市頼成で第20回大会を開催しました。両陛下には、タテヤマスギ、ボカスギ、マスヤマスギの苗木のお手植えを賜りました。

また、12,000人の参加者により、スギ15,000本の植樹が行われました。

第２章　開催方針

１　開催理念

私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

２　富山県の特色を活かした大会の基本方針

（１）豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

①県民参加による多様な森づくりの推進

本県では、平成18年に「富山県森づくり条例」を制定し、平成19年から「水と緑の森づくり税」を活用して、地域住民との協働による里山再生や、先駆的な支援を行っている「とやまの森づくりサポートセンター」を通じた、ボランティアグループや企業をはじめ幅広い県民参加の森づくり活動に取り組んでいます。

この開催を県民参加の森づくり活動をさらに広げる契機とし、本県の豊かな森を県民共通のかけがえのない財産として、次の世代に引き継いでいきます。

②持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

本県の人工林は全国と同様に主伐期を迎えていることから、その伐採・利用と再造林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりを推進する必要があります。

この大会では、県産材を積極的に活用し木の良さをＰＲすることにより、森林資源の循環利用を促進し、林業・木材産業の振興につなげていきます。

③優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

本県では国民の約３割が罹病し、国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。この人に優しい無花粉スギを持続可能な森づくりを推進する上で必要な植林（再造林）の切り札として全国に普及します。

（２）森づくりと海づくりの連携の推進

本県では、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育むことから、漁業関係者が林業関係者などと協力して森林整備活動を実施し、地元の間伐材を活用した魚礁を設置するなど、海づくりと森づくりの連携が進んでいます。

この大会では、平成27年に開催される全国豊かな海づくり大会とも連携を図り、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信します。

（３）雄大な自然など富山県の魅力発信

立山連峰に代表される雄大な自然や植生自然度本州一の豊かな森林が、世界的にも珍しい「神秘の海富山湾」やそこで獲れる種類豊富でおいしい富山の魚と食文化、国宝瑞龍寺や世界遺産・五箇山合掌造り集落などの歴史ある伝統・文化、さらには、井波彫刻や庄川挽物木地といった伝統産業を育んできました。こうした本県の気候風土に育まれた富山の宝ともいえる数多くの魅力を全国に発信します。

（４）「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業まもない大会であることから、県外からの多くの招待者などに対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、富山にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

３　大会テーマ

第68回全国植樹祭の開催機運を高めるため、一般公募を行い、選定

４　シンボルマーク（大会キャラクター）

第68回全国植樹祭の開催機運を高めるため、一般公募を行い、選定

５　開催候補地

（１）式典会場（お手植え、お手播きを含む）

桃山運動公園（魚津市出地内）

（２）植樹会場

桃山運動公園の周辺

（３）荒天会場

ありそドーム（4000人）：魚津市北鬼江2898-3

６　開催規模

県内外から参加者6,000人程度の規模

７　開催時期

平成29年（西暦2017年）　春季

第３章　式典行事

１　基本的な考え方

○　参加者が開催理念を共有し、「また富山に来たい」と感じてもらう構成とします。

○　式典は簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。

○　子ども、高齢者、障がい者などを含め、多くの国民やボランティア団体等が参加できるよう配慮します。

２　式典演出

式典構成は、プロローグ、式典、エピローグの３部構成とします。詳細については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

（１）プロローグ

・プロローグでは、参加者を歓迎する気持ちを表現します。

・富山県の自然や文化、森林・林業・木材産業及び県民参加の森づくり活動の取組の紹介などを行います。

（２）式典

・式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。

・開催理念や大会テーマを分かりやすく表現します。

（３）エピローグ

・エピローグでは、参加者を歓送し、今後につながるメッセージを全国に発信します。

３　式典運営

○　式典の運営は、来場者の安全性、快適性に十分配慮し、多様なボランティアや花とみどりの少年団等の協力を得ながら、おもてなしの心をもって行います。

○　司会者、アシスタント、式典音楽隊等の出演者については、地元をはじめ、県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

第４章 植樹行事

１　基本的な考え方

○　植樹行事では、富山県の気候風土に適した広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などを植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林の循環利用の促進による林業再生を目指します。

○　植樹用の苗木は、県内で採取した種子を育成することを基本とします。また、苗木のホームステイなどにより、子どもたちが自らの手で育てた苗木も使用します。

○　全国植樹祭で実施するお手植え・お手播き、記念植樹以外にも、県民参加の森づくり活動の拡大につなげていくため、子ども、高齢者、障がい者などを含め、出来るだけ多くの県民やボランティア団体が植樹活動に参加できるプレイベント等の企画を検討します。

２　お手植え・お手播き

○　天皇皇后両陛下に苗木のお手植えと種子のお手播きを賜ります。その樹種については、本県の自然条件にあった樹種で、県民に親しみのあるものを選定します。

○　全国植樹祭開催後、お手植えされた記念樹は、森づくり運動のシンボルとして、大切に管理・育成していきます。

○　お手播きされた種子から養成した苗木は、富山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配布します。

３　記念植樹

県内外からの参加者が１人１本以上の記念植樹を行います。なお、具体的な植樹会場、森林の姿や森づくりの手法、樹種の選定などは、「基本計画」を策定する中で検討します。

第５章　会場整備等

１　基本的な考え方

○　会場等の整備にあたっては、土地形状の変更などにより自然環境に負荷を与えないよう、極力原地形を有効に利用し、経費の節減を図ることを基本とします。また、周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性や機能性を考慮し、高齢者や障がい者に配慮します。

○　仮設物等の整備は、できる限り県産材（間伐材等）を使用します。

○　会場全体を本県の森づくりの取組や企業、森林ボランティア団体等の活動状況等の発表の場とし、参加者へアピールします。

２　会場整備

（１）式典会場

○　既存施設を最大限活用することを基本とし、会場に設置する仮設構造物については、県産材をできる限り使用します。

○　会場の具体的な構成や設計は、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

（２）植樹会場

現況の植生の保全に配慮し、将来の森林をイメージし広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽に必要な整備を行います。

（３）駐車場、交流広場等

○　駐車場は、会場の近隣に確保します。

○　交流広場にサービススペースを設け、参加者が安心して快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所などを整備します。

○　富山県の県民参加の森づくり活動や観光、県産品等を参加者に広くＰＲするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売のブースなどを関係団体の協力により運営します。

（４）荒天会場

荒天により、式典会場等での行事実施が困難であると判断した場合は、荒天プログラムに変更して実施します。

３　交通・宿泊等

（１）交通・宿泊

○　式典前日、宿泊参加者（主に県外招待者）は、式典・植樹会場の近隣地域などで、第68 回全国植樹祭富山県実行委員会が指定する施設に宿泊することを原則とします。

○　会場への移動は、宿泊参加者は宿泊施設から、その他の参加者は最寄りの集合地から、第68回全国植樹祭富山県実行委員会が手配するバス等を利用して行うものとします。

○　宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない快適な宿泊・輸送体制を整えます。

（２）その他

○　会場周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全を期します。

○　会場へのアクセス道路沿線については、地元市町村や関係者、地域住民の協力及び参加を得て、花と緑でおもてなしをするなど、参加者を歓迎します。

○　県外招待者に対して、富山県の森林・林業、雄大な自然や伝統・文化に対する理解を深めていただけるよう、式典終了後の視察コースを設定し、交流の促進を図ります。

第６章 記念事業等

１　基本的な考え方

○　第68回全国植樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森づくり活動や森林の循環利用の促進による林業再生の必要性などについて、県民に広く普及啓発するため、記念事業や広報活動等を幅広く実施するとともに、県内全市町村でそれぞれの特色を活かした行事を併せて開催するなど全県的な盛り上げを図ります。具体的な内容については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

○　大会の基本理念を普及するため、県民参加の森づくり活動や県産材利用の拡大、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を活用した持続可能な森づくりの推進などの各種施策に積極的に取り組みます。

２　記念事業

記念事業は、プレ全国植樹祭、森づくりと海づくりの連携イベント、木工工作イベント、シンポジウム等を開催するほか、記録誌・記録映像の作成、記念切手の発行等を行います。

３　関連事業

全国植樹祭の併催事業として式典前日に開催される「第46回全国林業後継者大会」については、幅広い県民参加の森づくり活動や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を活用した持続可能な森づくりの普及促進など、第68回全国植樹祭の開催理念に即した内容とします。

４　広報活動

○　新聞、ラジオ、テレビ等の多様な媒体を活用した広報活動を実施するほか、第68回全国植樹祭に関する定期広報誌の発行を行います。

○　大会ポスター原画の公募を行うほか、大会シンボルマークを活用し、第68回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

○　ホームページを開設し、各種イベントや森づくり活動に関する実施情報を積極的に発信します。

第７章　運営方針等

１　基本的な考え方

○　全国からの参加者をおもてなしの精神でお迎えし、富山県開催の全国植樹祭の開催意義や理念を伝える場とします。

○　全国植樹祭の運営にあたっては、市町村、林業関係団体、ＮＰＯ法人及びボランティア団体等との協力・連携を図ります。

２　実施組織

開催準備を円滑に進めるため平成26年度以降に次の組織を設置します。

（１）第68回全国植樹祭富山県実行委員会（平成26年度設置）

・構成：会長　知事

委員　県議会議員、県、開催市、森林･環境関係団体、教育関係団体、経済･観光関係団体、県民･女性関係団体、宿泊･輸送関係団体等

・目的：「基本計画」「実施計画」の策定など、全国植樹際の総合的な企画・準備

（２）第68回全国植樹祭富山県実施本部（平成28年度設置予定）

・構成：本部長　知事

本部員　県職員、開催市職員、関係機関職員、関係者等

・目的：全国植樹祭の円滑な運営の実施

資料２（要約版）

第68回全国植樹祭「基本構想」の概要

【開催理念】

全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

【富山県の特色を活かした大会の基本方針】

（１）豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

・県民参加による多様な森づくりの推進

県民参加の森づくり活動をさらに広げる契機とし、本県の豊かな森を県民のかけがえのない財産として、次の世代に引き継ぐ。

・持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

森林資源の循環利用を促進し、林業・木材産業の振興を図るため、県産材を積極的に活用するとともに、木の良さをＰＲする。

・優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

本県が、全国に先駆けて開発した花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を、持続可能な森づくりを推進する上で必要な植林（再造林）の切り札として、全国に普及する。

（２）森づくりと海づくりの連携の推進

平成 27 年に開催される全国豊かな海づくり大会と連携を図り、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信する。

（３）雄大な自然など富山県の魅力発信

本県の気候風土に育まれた数多くの魅力を全国に発信する。

（４）「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業まもない大会であり、県民全体で「おもてなしの心」で対応し、富山にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とする。

【大会の概要】

（１）主　　催　公益社団法人国土緑化推進機構、富山県

（２）大会テーマ及びシンボルマーク（大会キャラクター）

公募により今年度中に選定

※大会テーマは、今年度末頃に国土緑化推進機構と協議のうえ、正式決定

（３）開催候補地、開催規模、開催時期

①式典及び植樹会場

魚津市桃山運動公園及びその周辺

○選定理由

・立山連峰を背景にしながら、富山湾が近くその眺望がすばらしく、海、川、山が一体的に実感できる。
・既存施設の整備状況や道路アクセスがよい。

荒天会場：ありそドーム

※開催地は、本年秋頃に国土緑化推進機構と現地協議のうえ、正式決定

②開催規模　参加者６，０００人程度

③開催時期　平成２９年春季

（４）式典の考え方

参加者が開催理念を共有し、「また富山に来たい」と感じてもらう構成とする。また、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとする。

（５）植樹樹種等

富山県の気候風土に適した樹種や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林の循環利用の促進による林業再生を目指す。

（６）会場整備の考え方

既存施設を最大限活用することを基本とし、会場には、県産材をできる限り使用する。（お野立て所、ベンチ、プランターなど）

開催候補地　－魚津市桃山運動公園の概況－

魚津桃山運動公園全景

桃山運動公園からの海の眺望

桃山運動公園からの山の眺望

基本計画（案）の主な検討内容について

資料3－1

基本計画（案）の内容			
章	項　　目	基本構想記載状況	主な検討事項
第1章　開催概要	1開催意義	記載済み	図表等も加えて、わかりやすく整理
	2開催理念	記載済み	
	3大会の基本方針	記載済み	大会全体を通した「富山らしさ」や森、川、海のつながりの演出展開イメージ
	4大会テーマ		①大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画は、一般公募 ②大会キャラクターは、富山県公式キャラクターの「きときと君」をベースに、植樹祭のイメージに沿って作成 ③大会シンボルマーク、キャラクター等の活用法、PRグッズ
	5シンボルマーク（大会キャラクター）		
	6大会ポスター原画		
	7開催規模等	記載済み	参加者数等について、県内・県外、特別招待・一般参加等の内訳
第2章　式典行事計画	1基本方針	記載済み	
	2式典演出計画		富山にまた来たいと感じてもらう構成
	3式典進行プログラム		富山らしさや森、川、海のつながりを感じられる進行内容
第3章　植樹行事計画	1基本方針	記載済み	
	2お手植え・お手播き計画		以下の点に留意して、事務局（案）を作成 ①本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」や、富山の歴史・文化や産業、自然環境、森、川、海のつながりなどを感じられる樹種の選定 ②現況の植生や気候風土に配慮し、将来の森の姿をイメージした、植樹会場の整備計画
	3記念植樹計画		
	4植樹会場の森づくりの方向性		
	5植樹会場整備計画		
第4章　会場整備計画	1基本方針	記載済み	
	2施設配置計画		会場の雰囲気や眺望・周辺景観に配慮した施設の配置計画、鳥瞰図作成
	3主要施設計画		施設配置計画を受けて、大会シンボルとなるお野立所のコンセプト ベンチ・プランターは、今年度、その意匠等を決定
	4サイン・飾花等計画		参加者の安全、円滑な動線
第5章　運営計画	1基本方針	記載済み	
	2招待計画		県内・県外、特別招待・一般参加等の内訳
	3参加者行動計画		招待計画の区分ごとに行動フローの作成
	4特別接伴・レセプション計画		天皇皇后両陛下のご臨席を賜るレセプションや特別招待者対応など
	5会場おもてなし計画		富山の魅力を発信できるおもてなし広場
	6医療・消防防災・警備等計画		参加者の安全・安心への配慮
第6章　宿泊・輸送等計画	1基本方針	記載済み	
	2宿泊計画		宿泊候補地や宿泊施設の選出
	3輸送計画		招待者の区分ごとの輸送手段や駐車場候補地
	4視察計画		富山の魅力を発信できる視察候補地
第7章　荒天時式典計画	1基本方針	記載済み	
	2会場	記載済み	
	3運営計画		参加者の構成、式典プログラム、切替システム
第8章　記念事業等計画	1基本方針	記載済み	
	2記念事業等の内容		①プレ植樹祭等の内容、既存の森づくりイベントや海づくり大会との連携 ②記念事業や関連事業への県民の参加による機運づくり
	3関連事業等の内容		
	4県民参加の内容		大会を契機とした県民参加の森づくりや森・川・海の連携を一層推進するための方策
第9章　広報計画	1広報計画		マスメディアやインターネット等の活用、シンボルマーク・キャラクターやPRグッズの活用など

資料3－2

第68回全国植樹祭の開催に向けたスケジュール（予定）について

年　度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
実　行 委員会	○設立総会 H26.5.30 基本構想承認 ○第2回 秋頃 基本計画（案）の中間報告	○第3回 春頃 基本計画（案） 策定 ○第4回 秋頃 実施計画（案）の 中間報告	年2回程度開催	第６８回全国植樹祭　開催（春頃）
幹事会	○第1回 H26.6.4 基本計画の検討 ○第2回 秋頃 基本計画（案）の中間報告の検討	○第3回 春頃 基本計画（案）の 検討 ○第4回 秋頃 実施計画（案）の 中間報告の検討	年2回程度開催	
計画策定 等	基本構想 ◇開催理念 ◇基本方針 ◇開催地 ◇開催規模等 基本計画 ◇大会ﾃｰﾏ、ｼﾝﾎﾞﾙﾏｰｸ ◇式典演出等構想（演出ﾃｰﾏ等） ◇植樹計画（樹種の選定等） ◇会場整備計画（施設の配置計画等） ◇運営・広報計画等	実施計画 ◇式典演出等計画 ◇宿泊・輸送等計画 ◇大会運営等計画 ◇記念事業等計画	運営マニュアル 実施本部	
国土緑化 推進機構	□開催決定 8月 □開催会場決定 秋頃 □大会ﾃｰﾏ協議	□基本計画承認 （特別委員会） H28.2月頃	□開催日決定 □実施計画承認 （特別委員会） H29.2月頃	
大会機運 づくり	「立山　森の輝き」展示林造成（6月～10月） 森の寺子屋等で全国植樹祭ＰＲ（6～3月、約120回） ○とやま森の祭典 森づくりﾌｪｱ H26.5.28 ○種子採取ｲﾍﾞﾝﾄ等 11月頃 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる苗木育成（11月～）	【実施内容は今後検討】	【実施内容は今後検討】	
海づくり 大会等	○全国植樹祭 （新潟大会） H26.6.1 ○全国豊かな海づくり大会ﾌﾟﾚｲﾍﾞﾝﾄ H26.10.12	○全国植樹祭 （石川大会） ○全国豊かな海づくり大会 H27.10.24～25	○全国植樹祭 （長野大会） ○全国植樹祭 ﾌﾟﾚｲﾍﾞﾝﾄ	

第６８回全国植樹祭富山県実行委員会
第１回幹事会
次　　第

日時：平成 26 年 6 月 4 日（水）10:00～11:30
場所：農協会館　８階ホール

１　挨　拶

２　報告事項
（１）全国植樹祭の概要（ビデオ上映）
（２）全国植樹祭の推進体制 …… 資料１-１～１-３
（３）大会の基本構想 …… 資料２

３　審議事項
（１）基本計画の検討について …… 資料３-１、３－２

４　その他

第68回全国植樹祭富山県実行委員会　第1回幹事会　出席者名簿

（敬称略）

区分	団体	役職	氏　名	出欠	代理
幹事長	富山県	農林水産部長	須沼　英俊	○	
副幹事長	富山県	農林水産部次長	山本　公生	○	
	(公社)とやま緑化推進機構	専務理事	斉藤　　勉	○	
	魚津市	副市長	谷口　雅広	○	
学識者	富山大学人間発達科学部	学部長	神川　康子	○	
	富山国際大学現代社会学部	教授	尾畑　納子	○	
林業・緑化団体	富山県森林組合連合会	代表理事専務	柳原　正紀	○	
	富山県木材組合連合会	副会長・専務理事	宮長　　悟	○	
	富山県山林協会	専務理事	落原　正之	○	
	(公社)富山県農林水産公社	専務理事	祖川　信一	○	
	(一社)富山県建設業協会	常務	竹田　淳一	○	
	富山県素材生産組合	事務局長	宮長　　悟	○	
	富山県林業研究グループ協議会	会長	宇井　展生	○	顧問　林下　博
	富山県樹苗緑化協同組合	事務局長	石黒　信二	○	
	富山県緑化造園土木協会	専務理事	荒木　一夫	○	
	(公財)花と緑の銀行	専務理事	定村　剣次	○	緑花推進部長　加藤誠一
	富山県花とみどりの少年団連絡協議会	副会長	斉藤　　勉	○	
	草刈り十字軍運動本部	事務局次長	川尻香代子	○	
	富山県フォレストリーダー協会	会長	岡山　重憲	○	
農水団体	富山県農業協同組合中央会	専務理事	山瀬　洋明	欠	
	富山県漁業協同組合連合会	代表専務理事	水門　　巧	○	
	富山県内水面漁業協同組合連合会	事務局長	秋田　廣成	○	
建築団体	(一社)富山県建築組合連合会	副会長	池上　敏久	欠	
	(公社)富山県建築士会	専務理事	小林　英俊	○	副会長　今村彰宏
経済団体	富山県商工会議所連合会	常任理事・事務局長	天坂　幸治	○	
	富山県商工会連合会	専務理事	池田　　進	○	
	(一社)富山県経営者協会	専務理事	佐藤　　登	○	
	富山経済同友会環境問題委員会	委員長	東澤　善樹	○	
観光団体	(公社)富山県観光連盟	副会長・専務理事	高野　博之	○	
	(公財)富山コンベンションビューロー	常務理事	中山　喜徳	○	
	富山県いきいき物産(株)	営業部長	金子　友義	○	
	宇奈月温泉女将の会「かたかご会」	会長	濱田　昌子	○	
青少年・女性	富山県婦人会	理事	青山　芳枝	○	
	(福)富山県社会福祉協議会	専務理事・事務局長	石坂　博信	○	
環境関係	(公財)とやま環境財団	専務理事	堀　　武司	○	
	(公財)環日本海環境協力センター	常務理事・事務局長	川崎　清人	○	
文化団体	(一社)富山県芸術文化協会	専務理事	舟本　幸人	○	
教育団体	富山県PTA連合会	副会長	米屋　慎一	○	
輸送団体	西日本旅客鉄道㈱金沢支社	富山地域鉄道部長	川崎　郁夫	○	
	(公社)富山県バス協会	専務理事	小竹　典吉	○	
	富山県タクシー協会	専務理事	清澤　新一	欠	
	あいの風とやま鉄道㈱	代表取締役専務	朝倉　隆文	○	
	富山空港ターミナルビル㈱	代表取締役専務	藤井　眞次	○	
	富山地方鉄道㈱	専務取締役	稲田　祐治	○	
国	林野庁中部森林管理局富山森林管理署	署長	加藤　昭広	○	
県	富山県知事政策局	次長	蔵堀　祐一	○	
	富山県観光・地域振興局	次長	磯部　　賢	○	
	富山県経営管理部	次長	山本　　修	○	
	富山県生活環境部	次長	熊谷　和哉	○	
	富山県厚生部	次長	新庄　幹夫	○	
	富山県商工労働部	次長	小城　慎治	○	次長　下川雅一
	富山県土木部	次長	田中　篤人	○	
	富山県教育委員会	次長	伍嶋二美男	○	
	富山県警察本部	警備部長	小山　重一	○	
市町村	富山市	副市長	神田　昌幸	○	農林水産部次長　篇原幸則
	高岡市	副市長	林　　時彦	○	
	氷見市	副市長	棚瀬　佳明	○	
	滑川市	副市長	石川　忠志	○	
	黒部市	副市長	中谷　延之	○	
	砺波市	副市長	齋藤　一夫	○	
	小矢部市	副市長	高畠　進一	○	
	南砺市	副市長	工藤　義明	○	林政課長　樋口 実
	射水市	副市長	泉　　洋	○	
	舟橋村	副村長	古越　邦男	○	
	上市町	副町長	中川　行孝	○	産業課係長　平井啓之
	立山町	副町長	舟崎　邦雄	○	農林課課長補佐　清水 正
	入善町	副町長	林　榮佐男	○	建設下水道課長　窪野 修
	朝日町	副町長	竹内　寿実	○	
	魚津市産業建設部	部長	四十万隆一	○	

委員69名　　うち　　出　席　66名
欠　席　3名

第68回全国植樹祭富山県実行委員会　第1回幹事会　配席図

スクリーン

ステージ

演台（パソコン）

富山県農林水産公社
富山県木材組合連合会（兼素材生産組合）
富山県森林組合連合会
富山森林管理署
富山国際大学
富山大学
とやま緑化推進機構（兼花とみどりの少年団）
魚津市
高岡市
氷見市
滑川市
黒部市
砺波市
小矢部市

プロジェクター

出入口

報道席

射水市
舟橋村
朝日町
魚津市産業建設部長
富山市
南砺市
上市町
立山町
入善町
（公財）とやま環境財団
（公財）環日本海環境協力センター
富山県婦人会
（福）富山県社会福祉協議会
（一社）富山県芸術文化協会
富山県PTA連合会
西日本旅客鉄道（株）金沢支社
（公社）富山県バス協会
あいの風とやま鉄道(株)
富山空港ターミナルビル(株)
富山地方鉄道(株)

報道席

出入口

富山県山林協会
（一社）富山県建設業協会
富山県林業研究グループ協議会
富山県樹苗緑化協同組合
富山県緑化造園土木協会
（公財）花と緑の銀行
草刈り十字軍運動本部
富山県フォレストリーダー協会
富山県漁業協同組合連合会
富山県内水面漁業協同組合連合会
（公社）富山県建築士会
富山県商工会議所連合会
富山県商工会連合会
（一社）富山県経営者協会
富山経済同友会
（公社）富山県観光連盟
富山コンベンションビューロー
富山県いきいき物産(株)
宇奈月温泉女将の会「かたかご会」

随行席

随行席

随行席

県警察本部
県教育委員会
県土木部
県商工労働部
佐藤班長
清水課長
山本次長
須沼部長
小杉参事
県知事政策局
県観光・地域振興局
県経営管理部
県生活環境文化部
県厚生部

出入口

出入口